

音を重ねて。想いを重ねて。響き合う

ゼロからの祈り コンサート

OKINA シルクロード企画

「未来は過去にある」

京都四條 南座

2025

5/25 (日)

絃と弦 雅楽とヴィヴァルディ / 四季 in 京都南座

主催 OKINA シルクロードプロジェクト【ゼロからの祈り】実行委員会
一般社団法人 culture and peace
共催 八坂神社 / 京都府 / ミホプロジェクト
後援 エフエム京都 / 読売新聞京都総局 / 京都市
協力 Style KYOTO / キョードー大阪 / 南座 / MBS テレビ / ATVK
企画・制作 ミホプロジェクト
総合プロデュース 武智美保 (mihoproject co. ltd.)

【プログラム】

<第1部>

絃楽器公演 「絃 過去 - 現在 - 未来」

友吉鶴心 (薩摩琵琶)

稲葉明德 (箏楽ほか)

黛 敏郎 BUNRAKU

演奏：佐藤晴真 (チェロ)

越天楽 ほか

演奏：弥栄雅楽会 (稲葉明德監修)

<第2部>

弦楽器公演 「ヴィヴァルディ / 四季」

ヴィヴァルディ ヴァイオリン協奏曲集『四季』

演奏：石上真由子 (ヴァイオリン)

テレマン室内オーケストラ



音を重ねて。想いを重ねて。響き合う

「OKINA シルクロード企画」は、これから「ギフト・贈り物」や神が生命を与えるという意味をもつ「DONO」のコンセプトを取り入れていきたいと考えています。「OKINA シルクロード企画」の基本となる「未来は過去にある」というコンセプトと共に、未来を担う子どもたちや若い人たちに音楽の力を伝えていくコンサート「DONO/ 贈り物」を企画・開催いたします。

この公演では、「ピノキオコンサート」に代表される、21世紀を生きる子どもたちが素晴らしい音楽に親しむことができる場を生み出す活動を行うマルタ・アルゲリッチを招きます（翌日26日の公演）。さらに、過去を象徴する日本の伝統芸能音楽である雅楽奏者、現代に活躍する日本の絃楽器奏者の演奏を、未来を担う子どもたちに届けることで過去から未来への一本の道と、東西を繋ぐ「ワン・ワールド」のメッセージを伝えていきます。

ゼロからの祈り コンサート

OKINA シルクロード企画

「未来は過去にある」

2025
5/25(日)

京都四條 南座

15:00 開演 13:00 ロビー開場
14:30 客席開場

13:00 より、ホワイエにて、琵琶ワークショップ、
womensartisan ポップアップ、
絃楽の展示（管弦と管絃の違い）をいたします。

1等席 8,000円
4,000円（小学生から高校生対象）
2等席 6,000円
3,000円（小学生から高校生対象）

- 全席指定
- 未就学児は入場不可
- 5月25日の公演にはマルタ・アルゲリッチは出演しません

プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード 291-166)
ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード 53835)
CNプレイガイド 0570-08-9999(10:00~18:00オペレーター対応)
<https://www.cnplayguide.com/>
イープラス <https://eplus.jp/>

お問い合わせ

【チケットに関して】
キョードーインフォメーション
0570-200-888(12:00~17:00 土日祝・休み)

【公演に関して】

ミホプロジェクト
075-417-4870 (10:00~16:00 土日祝・休み)

やむを得ない事情により、出演者・曲目などが変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。



友吉鶴心



稲葉明德



佐藤晴真



石上真由子



弥栄雅楽会



テレマン室内オーケストラ

友吉鶴心 (ともよしかくしん) 作曲家・琵琶奏者・NHK大河ドラマ芸能考証/指導

幼い頃より様々な文化・芸能の稽古を受け両親の偉業である薩摩琵琶継承・発展を志し、名跡を世襲、世界的な琵琶奏者・鶴田錦史に師事。文部大臣奨励賞・NHK会長賞等受賞。様々なジャンルと国内外で共演を重ね古典は基より、ゲーム音楽等多様活躍中。日本文化芸能普及の一環としてNHK大河ドラマ「べらぼう」を始め多数の芸能考証・指導を担当し、NHKラジオ深夜便「もっと！光る君へ」の案内役をレギュラーも勤め、更には武智美保とシルクロードに向けて数々のコンサートを勤める。農林水産省「ありがた大使」/台東区観光大使・アートアドバイザー/NPO法人ACT/JT理事/一般社団法人日本スイーツ協会理事。日本大学芸術学部音楽学科非常勤講師。

稲葉明德 (いなばあきのり) 作曲家・筆楽奏者

幼少より篠笛、和太鼓、筆楽、ドラム等を始め、1972年より宮内庁の東儀兼彦に師事。1978年に日本雅楽会へ入会し1979年18歳で東京楽所に入る。以来数多くの雅楽公演に参加する。1996年に独立。以後日本音楽集団に所属し筆楽だけでなく他国のリード楽器や世界の珍しい楽器、太平籥(テビョンソ)、葫蘆絲(フルス)巴烏(パーウ)等も研究。胡志厚等の教えを受け、管子(グァンズ)や哨呐(スオナ)を習得。正倉院復元楽器を用いた劉宏軍の「天平楽府」、野村万之丞の「真伎楽」「大田楽」、九世野村万蔵と南原清隆の「現代狂言」、デーモン閣下「邦楽維新」、怪談狂言「耳なし一匹」、松坂慶子「天守物語」、森田剛の「鉦切り丸」、市川染五郎、中村勘九郎の「阿弔流為」等の舞台で作曲や演奏にて参加する。朝日放送の正倉院DVD、京都御所DVD、「精霊の守り人」、その他NHKをはじめ数多くのメディアに楽曲提供している。

佐藤晴真 (さとうはるま) チェロ奏者

2019年、ミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門において日本人として初めて優勝し、国際的に注目を集めた。18年、第11回トルスコフスキ国際チェロコンクール第1位および特別賞受賞など多数の受賞歴を誇る。バイエルン放送響はじめ国内外の著名なオーケストラと共演しており、リサイタル、室内楽でも好評を博す。これまでドイツ・グラモフォンより3枚のCDをリリース。江副記念リクルート財団第52回奨学生。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年製。

石上真由子 (いしがみまゆこ) ヴァイオリン奏者

日本音楽コンクール等、内外で受賞多数。国内外でオーケストラとの共演も重ね、題名のない音楽会やNHKクラシック音楽館等メディア出演も多数。アンサンブル九条山メンバー。Ensemble Amoibe 主宰。Music Dialogueアーティスト。京都市芸術新人賞、音楽クリエイティブクラブ賞、大阪文化祭賞、青山音楽賞、藤堂音楽賞、京都府文化賞受賞。日本コロムビアよりCD発売中。www.mayukoishigami.com

弥栄雅楽会 (やしかががくかい)

八坂神社の祭事に雅楽を奉賛する会。八坂神社での舞楽奉納は平安時代の中ごろ、円融天皇の病氣平癒のために奉納されたことに始まる。その後、崇徳天皇の頃からは毎年奉納されるようになった。中世には応仁の乱などによって中断したが、幕末の孝明天皇の折に復興し、現在は弥栄雅楽会が奉納を引き継いでいる。

テレマン室内オーケストラ

1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。その活動は高く評価され「サントリー音楽賞」を受賞。2003年、ドイツの「パツハーフ・フェスティバル」でC.P.E.バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。2007年にはクラシカル楽器によるF.J.ハイドンのオラトリオ「四季」を好演、「大阪文化祭賞 グランプリ」を受賞。2012年よりドイツ人パロック・ヴァイオリン奏者ウラ・ブンディース氏を首席客演コンサートマスターとして迎えた。